

別記第1号様式(第7関係)

会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		令和6年度 第4回教育に関する事務の点検・評価委員会
事務局（担当課）		庶務課
開 催 日 時		令和7年1月28日（火）午後6時00分～午後6時30分
開催場所		豊島区役所 教育委員会室（本庁舎8階）
議 題		(1) 評価結果報告 (2) その他
公開の 可否	会 議	■公開 □非公開 □一部非公開 傍聴人数 0 人
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会議録	■公開 □非公開 □一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委 員 (敬称略)	福本 みちよ 宮澤 晴彦 原 まり子
	その他	教育長、教育施策推進担当課長、学務課長、放課後対策課長、学校施設課長、指導課長、教育センター所長
	事務局	庶務課長

審 議 経 過

発 言 者	発 言 要 旨
福本委員長	【開会】 それでは、ただいまより第４回教育に関する事務の点検評価委員会を開催いたします。 まず、事務局より本日の傍聴について報告をお願いします。
事務局	本日、傍聴者はございません。
福本委員長	ありがとうございます。 それでは議事に入らせていただきます。 本日は、これまでの審議に基づいた評価の結果を報告させていただきます。 お手元にあります令和６年度教育に関する事務の点検評価報告書をご覧くださいと思います。 私の方から評価結果の概要をお伝えさせていただきたいと思います。 【以下、福本委員長より評価対象となった以下の事業について、評価結果と評価理由について評価報告書を読み上げ報告。】 ・子どもスキップの運営 ・不登校対策の強化 ・いじめ防止対策推進事業 ・学校施設環境改善交付金対象事業 ・小・中学校移動教室 以上、我々が出させていただきました評価の結果の概要になります。 続きまして各委員より全体的なコメントをいただければと思います。 宮澤委員よろしいでしょうか。お願いいたします。
宮澤委員	私も学校現場を外から分析、評価をさせていただきましたが、１つの発見として、今回、Ｃ評価が１個もなく、Ｂ評価が多いことが実は良い結果だと考えています。Ａ評価は「特に良い」ですが、区民のニーズや有効性、効率性にしても、委員が評価して、オールＢ以上ということは優秀な成績だといえます。この事業分析シートについても、指導課、学務課、放課後対策課などの各部署が客観的に作成している点もとてもいいなと思いました。 ただ、評価結果や意見については校長会などでお伝えさせていただきたいと思います。実際に行われていることや集めた意見は、それぞれ独立したものとして認識しつつ、校長先生に伝えることが重要です。これにより、教育委員会の方針に対する校長先生の意識が高まり、良い関係を築きながら前に進むことができると思います。教育ビジョンが変わる中で、各分析シートが有効に活用されればと考えています。また、豊島区が真剣に取り組んでいることをPRの材料として使ってもいいのではないかと思います。 最後に、いくつかの成果指標については、数値化が難しい面がありま

	した。成果は数値で示す必要があるため、もう少しわかりやすい数値にできないか検討していただければと思います。来年度も評価項目があるかもしれませんので、この点についての改善を期待しています。 いずれにしても、教育委員会が子どもたちのためにしっかりと取組をしていることが伝わりましたし、この報告書を何かに活用していただければと思います。私からは以上です。
福本委員長	ありがとうございました。原委員お願いいたします。
原委員	私は区民の立場ということで、今回出席させていただいたのですが、本当に自分自身が大変勉強させていただいたという思いです。やはりこの経験をこのままにするのではなく、地域に戻って、学校現場に還元していきたいと思います。また、いろいろな角度で先生方とお話でき、非常に勉強になりましたので、この場を借りて感謝申し上げます。
福本委員長	ありがとうございました。私から2つの指摘をさせていただきます。1つ目は、評価についてです。評価の質に最も影響を与える要素は、必要なエビデンスが示されているかどうかだと考えています。今回の評価結果を担当の皆様がご覧になった際に、過去1年間の取り組みが正当に評価されているかどうかをぜひお考えいただきたいと思います。 私たちが評価結果を「A」または「B」とすることに重点を置くのではなく、皆さんの取り組みがきちんと伝わり、評価されているかどうかを見てほしいと思います。その際、もし「もっとこういうこともやっているのに」と感じるものがあれば、それはおそらく資料に適切なエビデンスを示せていなかったからではないかと考えます。ぜひその点についてご検討いただきたいと思います。 宮澤委員が先ほどおっしゃっていた通り、子どもたちのために豊島区教育委員会が一生懸命取り組んでいることに感謝しています。ただ、その取り組みがエビデンスとして資料として示されない限り、評価することは難しいのです。今回も後から追加資料として補足いただきましたが、最初にそれが揃っていた場合、評価のしやすさや皆様との意思疎通にも影響があったかもしれません。したがって、次年度に向けて、評価してほしい部分に対するエビデンスをしっかりと整えることが、評価の質を高めることにつながるのではないかと考えます。 もう1点。今回のこの結果が重要なのではなく、次につながられるかが大切だと考えています。もちろん、関係者の中には異なる意見を持つ方もいらっしゃるかもしれませんが、外部からの視点でどのように捉えられるかを考慮していただき、次のステップにどう繋げていくかをぜひご検討いただきたいと思います。豊島区さんのこの先に期待させていたきたいと思います。私からは以上です。 それでは報告書を教育長にお渡しをさせていただきたいと思います。 (報告書手交、写真撮影) それでは教育長よりコメントをいただきたいと思います
金子教育長	ありがとうございました。本会議は11月から4回にわたり、非常に精力的にご議論あるいは、現地視察も含めて本当にありがとうございました。寒い時期でもありましたけれども本当に熱心にやっていただいて感謝の限りでございます。 結果を教えていただいた中でエールを込めてというふうにおっしゃっ

福本委員長	ていただいたのでそのように受け止めさせていただきます。Aという評価をいただいた中にも、ご説明いただいたように、課題が全くありませんということはありませんのでそこについてきちっと把握させていただいて、それを反映していきたいと思います。 先ほどご意見の中でも学校などいろんなところをお伝えした方が良いのではないかとということも含めて考えさせていただきます。 何よりいわゆる PDCA サイクルのですね、一環として行っているものですので今回の点検評価が現行ビジョンの教育ビジョンの最終でありました。そういう意味でそこに立ち会わせていただいて嬉しい限りでございます。最後ということで、結構盛りだくさんでしたけども結構厚みがあるところですね、しっかり見ていただいて、いろんなご意見いただけて、本当に感謝申し上げます。合わせまして先ほどもお話あったようになかなか示し方っていうのですかねエビデンスの示し方。子どもが対象であって教育っていう営みの評価ですのでそれはどういうエビデンスを出せばいいのか、いろいろご指導を受けながら教育の評価の一番肝となるところなのかなと改めて感じました。教育の特質になるのかなと思ったところです。 現在、新ビジョンの検討に入っておりまして、大詰めに入っております。2月、あと2回ぐらいで完成になるところでございますけど、そこでも先ほどご指摘いただいた成果指標を非常に悩みながらやっておりますが今回のこの点検評価についても、よくよく各担当で見ていただいて、今進めている方の新しいビジョンにも、少しでも反映できる場所があればさせていただきたいと思います。 いろいろ申し上げましたけれども本当に数回にわたりまして貴重なご意見をいただきました。必ずこれを宝として、我々の方が実践に生かして、一つでも多くの子どもたちのために、あるいは学校の先生方のために進めることができるかなと思っております。 本当に今回ありがとうございました。以上でございます。 委員の方々、よろしいでしょうか。 以上をもちまして第4回および本年度の教育に関する事務の点検評価委員会を閉会いたします。ありがとうございました。 —閉会—
-------	--